

平成28年度

保護者向けセミナー開催のご案内

～みんなで、一緒に考えよう～

講師による講話のほか、同じ悩みを抱える方々同士の交流や情報交換等をしていただく時間を設けています。「親子関係はどうあったら良いのか」、「子どもとどう接していけば良いのか」、「解決に向かうにはどうしたら良いのか」など、一緒に考えていきませんか？ぜひ、ご参加ください。

6月のセミナー 平成28年6月18日(土)

セミナー講師：心の健康相談室こだちのもり

心理カウンセラー 熊谷 香菜江氏

テーマ：「青年の自立は親の愛情と仲間の支え合い」

働き始めた青年の事例を当事者の母親とカウンセラーが報告します

【講師紹介】

光陽生協病院内の「心の健康相談室」に、常勤のカウンセラーとして約30年間勤務。定年退職後、保護者と共に、NPO法人 心の健康相談室こだちのもりを設立。相談者ひとり一人に合った方針を立て、関係諸機関と連携をとりながらよりよい支援をしています。

時 間：13:30～16:00

対 象：若年無業者のお子さんを持つご家族の方

定 員：20名 (申込み方法：事前に「サポステふくい」までお電話ください。)

場 所：福井県社会福祉センター

参加費 無料

サポステふくい(ふくい若者サポートステーション)とは…。

若年無業者の方の職業的自立支援を行う機関です。サポステふくいは、厚生労働省の認定事業で、福井県との協働事業として行っております。

4月開催のセミナーレポート

日 時：平成28年4月23日(土)

テーマ：『混沌を抜ける手立て～些細なことこそ、意味があり・可能性がある』

講 師：前敦賀短期大学教授 龍谿 乗峰 氏

今回、先生は今までに支援してきたケースを2件紹介しました。1件目は、“いい子”で優秀だった息子が、高校からおかしくなり、大学も辞めて、ひきこもってしまったことに失望し、「なぜこうなったのか？」と母親が訴えるケースです。今の状況や小中学校の頃からの変化を伺い、今、本人を取り巻く人たちの気持ちの向きと位置関係を確認すると、中学校からつきあってきた彼女がおり、その彼女と両親が話し合うことで現状の打開を先生は提案されました。その後、両親は彼女を通じて本人の気持ちを知り、彼女自身が自身の境遇を再認識し、本人をリードすると決心することで好転していきました。

次の1件は、仕事を辞めてしまい、ひきこもり状態の息子がうつ病などではないかと心配した母親の電話相談でのケースです。父親は時期的なもので病気ではないというため、母親は対応に苦慮していましたが、父親の話を聞くと父親自身も若い頃に、同じようにひきこもった経験があり、親(祖父母)も自分(父親)も互いに期待することを諦めたことで、一歩前に踏み出せたということでした。その後、反抗期がなかった息子に、父の経験を話す機会がタイミングよく訪れ、意思疎通が叶いました。その後、本人は自分で決めて、復職も叶ったとのことでした。

この2つのケースを通じ、親として希望や期待を諦めること、本人に選択を任せることで、混沌とした状態を抜けるいくつかの手立てを先生は提案されました。その後、意見交換では親と子の関係は、第三者の介入によって好転する場合があること、“今は”本人に任せようという心構えも大切であること念押しをして、セミナーを終えました。

【お問い合わせ】サポステふくい(ふくい若者サポートステーション)

福井市光陽2丁目3-22
福井県社会福祉センター1F

TEL 0776-21-0311

